



園だより

令和元年 5 月発行

合志こども園 園長 松岡 貴子

夏野菜！すくすく育っています

4月終わりに、保護者会役員さんのご協力のもとプランター整備を行いました。天皇陛下退位に伴う連休後、各クラス育てたい夏野菜の苗を準備して頂き、早速植え付けては毎日お世話を頑張っています。土づくりに良い堆肥を準備していただいたお陰も有り、今年の育ち方は勢いが良いようです。小さな花芽を付けだした苗に「早く食べたいね」と心待ちにしています。先日配布しました苗も、子どもたち自身でお世話していくことで、食への関心も高まっていくのではないかと、期待しています。育てた野菜の味は格別だと思います。今後子ども達から「生長経過」を聞けることを楽しみにしています。



“りすくみのきゅうり”ぐんぐんのびています。

ここ数日の気温の高さに、熱中症を心配する日が続いています。先日は朝から少し肌寒く感じることもあり、登園時に「長袖・長ズボン」の子ども達が目立っていました。朝冷え込む日は決まって、日中かなり気温が上がり、園庭での遊びも心配です。以上児になると少しずつ、衣服の調節が出来るように園では声を掛けていきます。「汗をかいたので着替える」や「暑くなったので、半袖にする」等場面に合った判断が出来ること【問題解決力】は、とても大切なことです。生活の中で、悩んだり問題に直面した時にも【自己判断力】として発揮されることに繋がっていきます。しかし子ども達が「どうすればいいか？」と考える時、つい先に声を掛け、答えを助言してしまうことがあると思います。そういう関わりを重ねていくことで、子ども達は自分で判断せず、答えを待つようになってしまい指示が無ければ行動できないことに繋がってしまいます。

そこで私たち大人に、子ども達がこれからの社会を『自分で生きていく力』を育てていけるように関わっていくことが求められています。子どもが悩んだり、考えているときに力を育むチャンスと捉え、一呼吸おいて見守ってみましょう。子ども達の考えに耳を傾け共感し、時にはちょっとしたアドバイスを投げかけてみると、驚くほど色々な考えを生み出してくれます。自分が出した考えを試してみることで、「自分でやった」「自分ってすごい」という体験を重ねることが大切です。【体験の重視】【自ら考えて行動できる力】

園では『見守る関わり』を大切にしています。子ども達と関わる時に「どうすればいいかな？」「いい考えだね」「やってみようか」「失敗してもいいんだよ」等声を掛けています。子ども達が自ら方法を見つけたいけるように、考えている時は『見守り』、考えを出した時は『共感』したり、悩む時は『一緒に考え』ていきます。先日の参観時には、保護者の皆様が同じように子ども達の取り組む姿を見守り、一人一人の力を共感されている様子を拝見させて頂き、嬉しく思いました。家庭と園とが、同じ方向をみて、子ども達の成長に関わっていけることに深く感謝いたします。【パートナー論】

保護者の皆様と共に、子ども達の可能性を信じ、共に喜びを分かち合っていきたいと思います。これからも、本園の教育・保育のご理解、ご協力をお願い致します。子ども達の夢の実現のために・・・

ほけんだより

5月 感染症罹患状況

・手足口病 ・ヘルパンギーナ

※集団生活の場です。受診、完治の協力をお願い致します。

感染症と言えば、ひと昔は流行する時期が決まっていたように記憶しますが、近ごろは時期に関係なく罹患してしまう傾向がみられるようです。今の時期もインフルエンザに罹っている情報が入ってきます。病原菌の威力が強くなったのか？人間の対抗力が弱まったのか？原因は定かではありません。しかし、罹患する状況であることは事実ですので、いかに罹らない体を作るか！が求められると思います。まずは生活の見直しをしてみましょう。

- ① 好き嫌いせず食べるようにしている
- ② 朝ごはんは必ず食べ、バランスよくとっている
- ③ 睡眠時間は十分とっている
- ④ 大人時間に合わせて、就寝時間が22時以降になることが多い（眠くなったら寝る）
- ⑤ 起きる時間がぎりぎりである
- ⑥ 体を動かすことを進んで取り入れている（休日の戸外遊び）

チェックしてみられて、いかがだったでしょうか？

やはり健康な体を作るには『食事・睡眠・休息・戸外で体を動かす』という基本的なことが大切です。特に子どもにとって食事と睡眠が重要だと思います。しっかり食べこむことができ、充分睡眠時間を確保している子どもは、比較的病気になりにくい傾向が感じられます。子どもが元気に園へ登園してくれることが、保護者の皆様の就労にも影響を及ぼすことなく日々過ごせることに繋がります。また、無理をさせることは「長引く」「合併症につながる」「感染拡大」となります。鼻水だけだからとせず、いつもと違う時は必ず専門医療機関を受診してください。ご協力をよろしくお願い致します。園でも、「しっかり食事をとり、戸外遊びを計画し、午睡時間を確保し」感染防止の為、「手洗いうがいの取り組み：なぜ必要か子ども達と考える取り組み」や次亜塩素酸の散布等に努めてまいります。

これから梅雨の時期を迎えます。おなかを壊しやすくなりますので、気を付けていきましょう。



感染症に罹ったら！！

病院へ受診後、感染がわかったら直ぐ園に知らせましょう。

他に同じような症状の子ども達へ「〇〇が流行っています」と受診時医師へ伝えることができ、早期発見につながります。

大切な命！！みんなで対応して守りましょう



手足口病・ヘルパンギーナ
どちらも夏風邪のひとつです

元気になっても、ウイルスはまだ体の中に残っているんだって。便や唾液から排泄されるので、感染が広まらないように手洗いや消毒を丁寧にやらないといけないね！！

もう直ぐプール遊びも始まるので、早く治さなくっちゃね。